

高畠町公式マスコットキャラクター



たかつき

はたつき

令和2年度
第5回高畠町景況調査結果
(令和3年3月1日基準)

高畠町商工観光課



1. 調査概要及び回収結果

1. 調査の目的 町内事業所における現在の景況感を把握することで、新型コロナウイルスの流行による経営環境の悪化に対する支援策を検討するため。
2. 実施主体 高畠町、高畠町商工会
3. 調査設計 (1) 標 本 数: 町内事業所(個人事業主も含む)172事業所
※今年度回答のなかった事業所23ヶ所を除外し、同数を町内の飲食店、理美容店、運送業者から選定して対象に追加した。

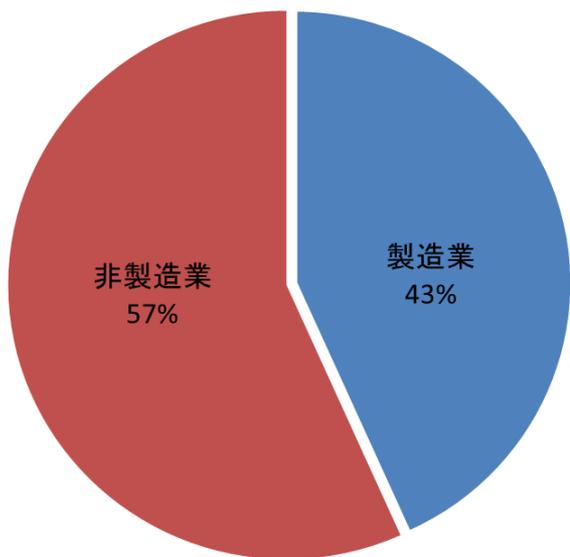
(2) 調査方法: 調査票の配布(FAX及び郵送)、回収(FAX及び郵送)

(3) 調査期間: 令和3年3月1日～令和3年3月19日

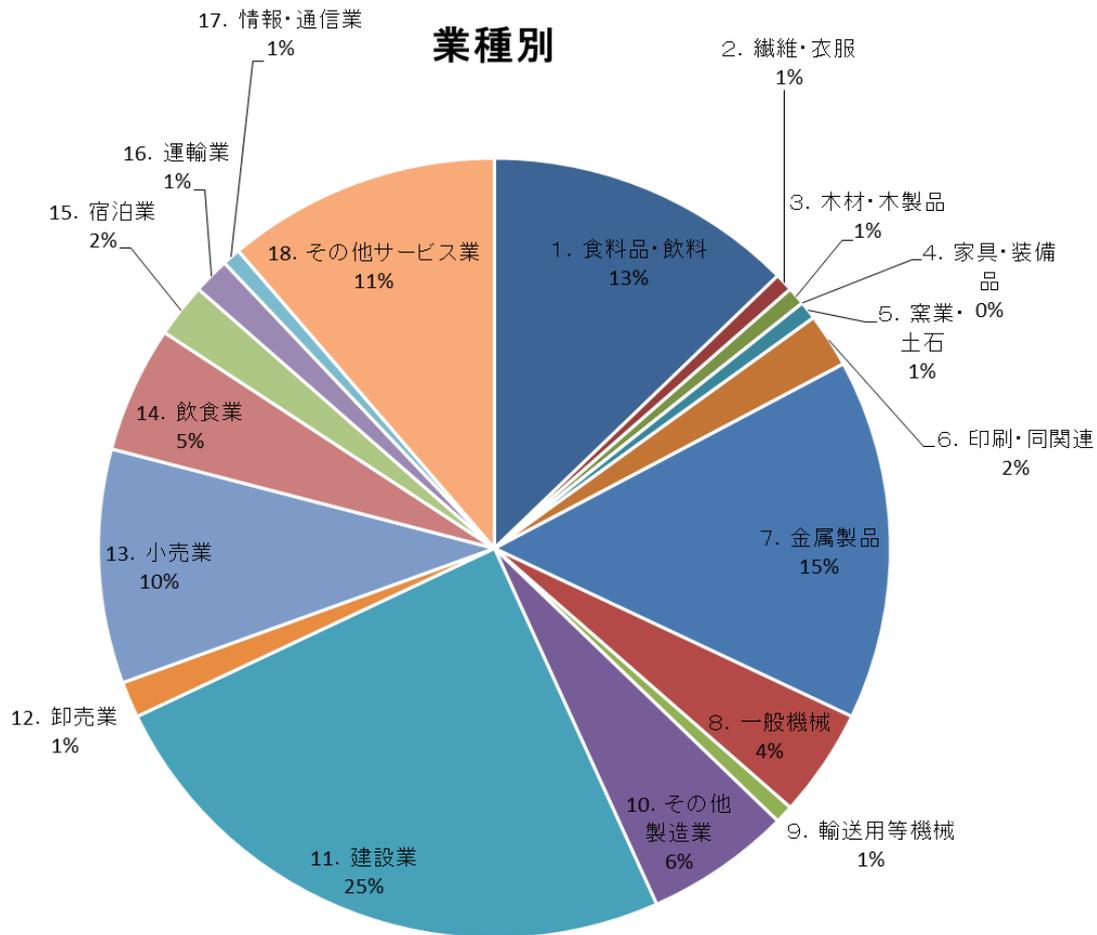
(4) 基 準 日: 令和3年3月1日
4. 回収結果 134事業所(回収率77.9%) ※ 前回:70.1%
5. 採用指標 「景気動向指数D.I.(ディフュージョン・インデックス)」を採用
実数値の上昇率を表すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを表す。
本調査では、「増加(良い・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から、「減少(悪い・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値で算出している。

<回答事業所内訳>

製造業・非製造業別

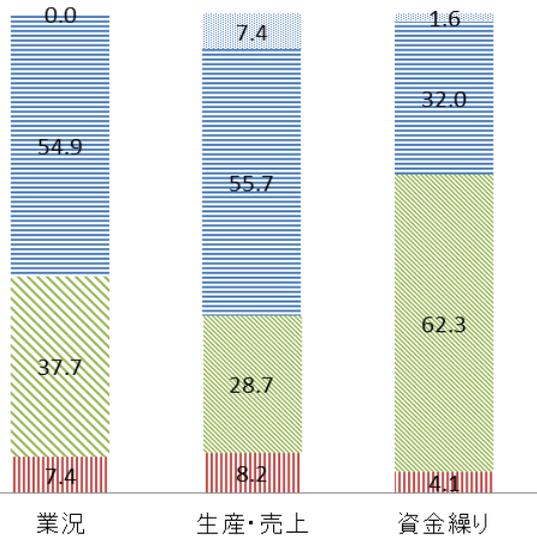


業種別

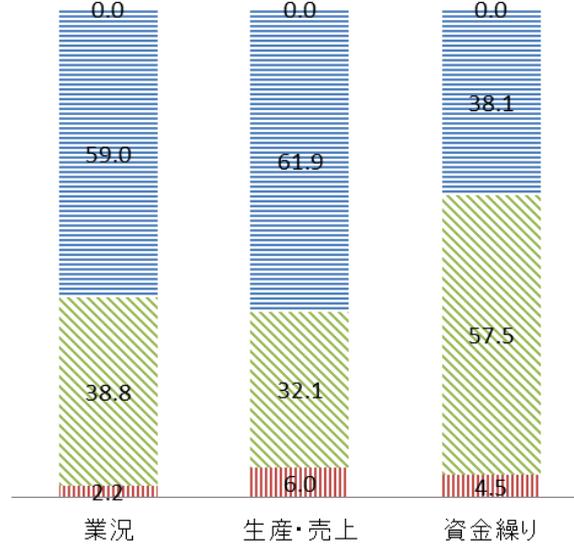


2. アンケート調査の結果①

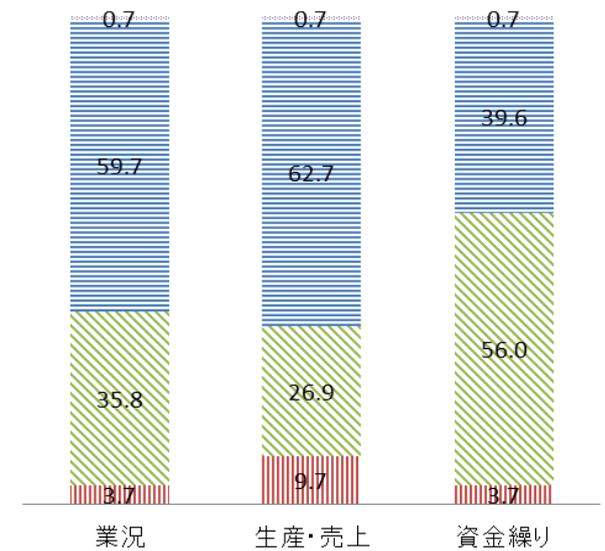
前期(令和2年9月～令和2年11月)



今期(令和2年12月～令和3年2月)

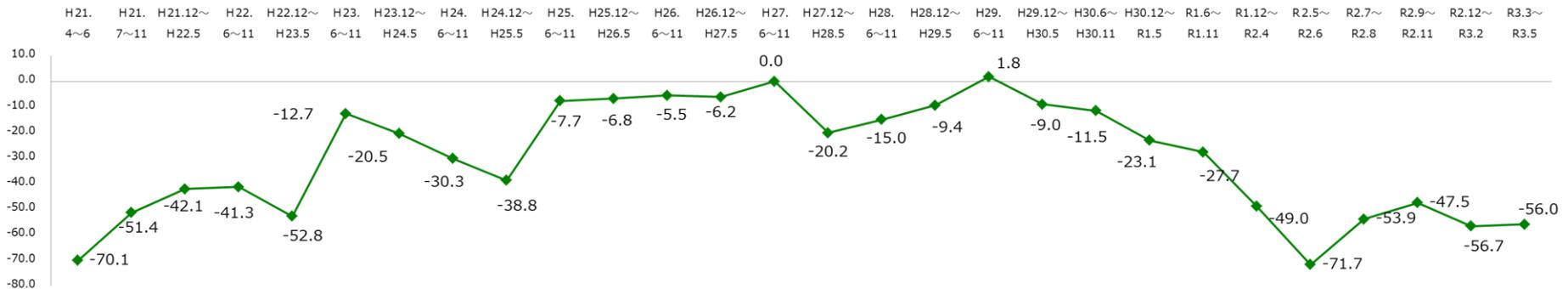


来期予想(令和3年3月～令和3年5月)



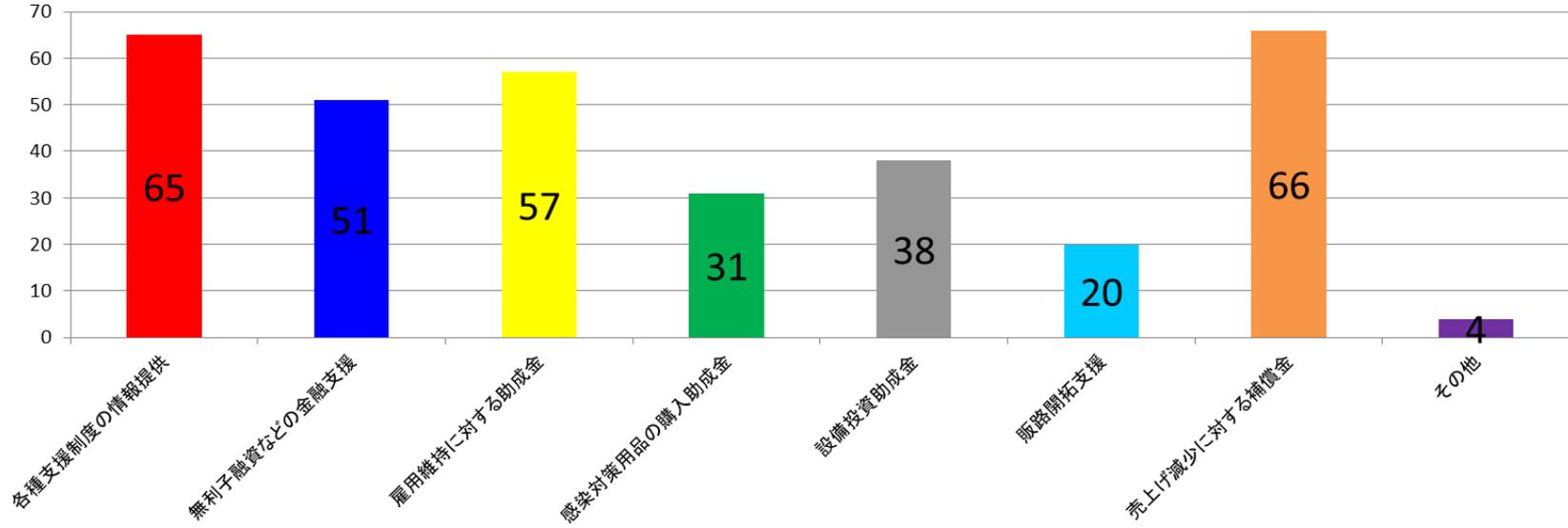
■ 増加(良い、上昇、過剰等)
 ■ 普通(不変、適正)
 ■ 減少(悪い、低下、不足等)
 ■ 無回答

調査開始からの業況D.I.の推移

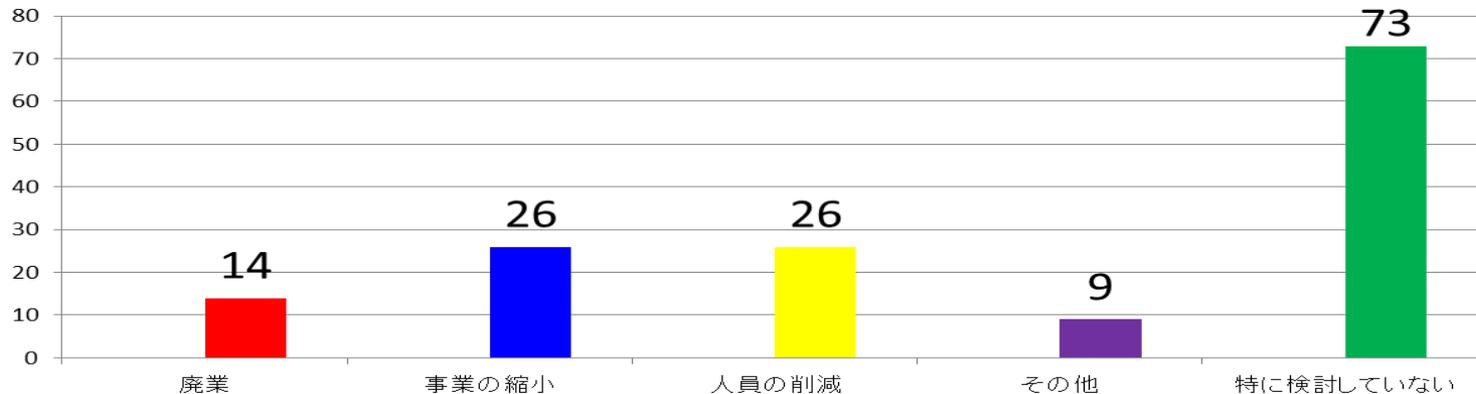


2. アンケート調査の結果②

新型コロナウイルス感染症の流行が続いている中で町に期待する支援について（複数回答可）



影響が更に長期化した場合に検討する可能性のある方策について（複数回答可）



3. D.I.から見た景気予測

※DI(ディフュージョン・インデックス)・・・「増加(良い・上昇・過剰等)」-「減少(悪い・低下・不足等)」の値

No.	調査項目	今回調査分													
		H27.12~ H28.5月期	H28.6~ 28.11月期	H28.12~ H29.5月期	H29.6~ 29.11月期	H29.12~ H30.5月期	H30.6~ 30.11月期	H30.12~ R1.5月期	R1.6~ 11月期	R1.12~ R2.4月期	R2.5~ R2.6月期	R2.7~ R2.8月期	R2.9~ R2.11月期	R2.12~ R3.2月期	R2.12~ R3.4月期 (予想)
1	業況 「良い」-「悪い」の指数	▲ 20.2	▲ 15.0	▲ 9.4	1.8	▲ 9.0	▲ 11.5	▲ 23.1	▲ 27.7	▲ 49.0	▲ 71.7	▲ 53.9	▲ 47.5	▲ 56.7	▲ 56.0
2	受注状況 ※製造業・建設業 「増加」-「減少」の指数	▲ 18.2	▲ 14.8	▲ 9.5	▲ 4.9	1.3	▲ 6.4	▲ 25.3	▲ 29.6	▲ 56.9			▲ 49.4		
3	生産・売上 「増加」-「減少」の指数	▲ 21.0	▲ 19.5	▲ 6.8	0.9	▲ 7.3	▲ 6.7	▲ 23.9	▲ 33.0	▲ 52.0	▲ 75.0	▲ 59.4	▲ 47.5	▲ 56.0	▲ 53.0
4	出荷状況【出荷量】 ※製造業 「増加」-「減少」の指数	▲ 21.7	▲ 14.5	▲ 5.2	▲ 3.6	▲ 3.6	▲ 7.8	▲ 35.1	▲ 42.9	▲ 55.1			▲ 51.6		
	出荷状況【出荷額】 ※製造業 「増加」-「減少」の指数	▲ 15.0	▲ 9.1	▲ 8.6	▲ 7.1	▲ 5.4	▲ 13.7	▲ 33.3	▲ 42.9	▲ 59.2			▲ 55.7		
5	在庫水準【製・商品在庫】 「過剰」-「不足」の指数	5.7	1.8	3.4	5.3	1.8	1.0	3.4	2.7	6.0			0.8		
	在庫水準【原材料在庫】 ※製造業 「過剰」-「不足」の指数	3.3	9.1	5.2	7.1	▲ 1.8	11.8	5.3	4.1	14.3			▲ 1.7		
6	価格【仕入価格】 「上昇」-「低下」の指数	25.0	33.6	32.5	38.1	56.9	48.1	37.6	37.5	10.0			17.2		
	価格【販売価格】 「上昇」-「低下」の指数	▲ 4.8	▲ 3.5	▲ 4.3	12.4	3.7	12.5	5.1	0.0	▲ 16.0			▲ 11.5		
7	採算 「好転」-「悪化」の指数	▲ 16.1	▲ 20.4	▲ 13.7	▲ 8.0	▲ 12.8	▲ 17.3	▲ 19.7	▲ 25.9	▲ 45.0			▲ 50.0		
8	資金繰り 「好転」-「悪化」の指数	▲ 10.5	▲ 8.0	▲ 11.1	▲ 8.8	▲ 4.6	▲ 9.6	▲ 8.5	▲ 16.1	▲ 36.0	▲ 35.9	▲ 42.2	▲ 27.9	▲ 33.6	▲ 35.8
9	雇用【正社員】 「増加」-「減少」の指数	4.0	▲ 8.0	3.4	▲ 1.8	5.5	▲ 1.0	2.6	▲ 1.8	1.0			▲ 4.9		
	雇用【臨時・パート社員等】 「増加」-「減少」の指数	0.8	▲ 2.7	1.7	2.7	3.7	1.0	1.7	▲ 3.6	▲ 5.0			▲ 1.6		

4. 景気動向(概要)

町内事業所の業況は新型コロナウイルス感染急増の影響で悪化に転じた。先行不透明感から景気回復への期待も弱く、急速に進んだ不況からの脱却は困難な状況にある。

(1) 今期の業況は、前回(▲47.5)から9.2ポイント減の▲56.7、「生産・売上」は前回(▲47.5)から8.5ポイント減の▲56.0、「資金繰り」は前回(▲27.9)から5.7ポイント減の▲33.6となり、全ての項目で悪化に転じた。

年明けからの感染者急増により経済活動の停滞や社会不安が再燃したことが回復傾向にブレーキをかけたものと考えられる。

(2) 来期の業況予想は今期から0.7ポイント増の▲56.0、「生産・売上」は3.0ポイント減の▲53.0、「資金繰り」が2.2ポイント減の▲35.8となった。

全国的な感染ピークは過ぎたものの、GOTOキャンペーンの再開未定など経済へのプラス要因が見えないため小幅な上昇にとどまったと考えられる。

資金繰りは悪化の見込みで、2度目のセーフティネット保証を申請する事業所が増えているなど、不況の長期化による経営体力低下が懸念される状況にある。

6. 事業所・業界の動向、要望事項①

1	町内産原料仕入れに対する助成金の確立
2	多くの企業がマイナスの影響を受ける中、実施する場合は公平な支援を望む。
3	町でPCR検査出来る機能を確立して頂きたい。
4	いつもお世話になっています。
5	アンケート等メールでできれば良いかな ⇒次回調査からアドレスを把握している事業者に対してメールで調査票を送付することを検討する。
6	常に情報を下さると助かります。
7	ポストコロナ時代に対応した各事業再構築への支援策
8	地球温暖化の危機的状況に対し、国連は、化学肥料・農薬使用量を50%削減する方向性を提示、合わせて日本政府も有機農産物の生産量をこの10年で10倍を目指すこととなった。現状面積を毎年積上げる大胆な政策転換となる。農家の行う消費活動は車、農機から生産資材と多岐にわたり、経済の地域循環に多大な好影響を生むこと必定。大豆や枝豆の冷凍製品化、米粉やご飯加工品の有機食材の開発は当町ならではのヒット商品開発が展望できる。
9	上段記入のムダ 登録しておけないか？ ⇒次回調査から項目を省略することを検討する。
10	町の業者が廃業にならない様に他の市町と比較して、町の業者が従業員削減することない様にお願いします。精一杯頑張っていきますので...

6. 事業所・業界の動向、要望事項②

11	コロナウイルスによる景気低迷により弊社も危機的状況にあります。 町内業者を是非使用していただき入札等町外に出さずをお願いしたいものです。
12	給付金制度の検討をお願いします。(他の地域での実例あるようです。)
13	感染予防・衛生対策用品等検討している所があれば、カタログ持っていきます。
14	コロナ社会をどうのりこえるかの勉強会 補助金や給付金
15	コロナウイルスの長期化で先が見えない不安の中、ワクチン接種だけが望みです。
16	いつも大変お世話になっております。事業をなんとか持続するために、今月中には小規模事業者持続化補助金をご入金いただきたいと願っております。経営はタイムリーに進み、まってはくれません。宜しくお願い致します。 ⇒小規模事業者持続化補助金について商工会に確認したところ、入金時期は未定であるが申請者と頻りに連絡を取ってフォローしているとのこと。
17	持続化補助金を実現化して欲しい。